

令和5年度指標に対する実績評価(最終評価)

指標の目標年度 令和5年度

評価期間 令和3年度～令和5年度

1 市民サービスに必要な資料を確保し、提供することに関する指標 (4項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R5年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
1-1	所蔵資料点数	482,244点	483,263点	486,240点	490,000点	492,183点	100.4%	利用者の要望や地域の実情に留意しつつ計画的に多様な所蔵資料の整備を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館(自動車図書館含む)及びオンラインで結ばれている谷田部・筑波・小野川・荃崎の4交流センター図書室(以下、「4図書室」という。)で所蔵する資料(視聴覚資料・雑誌を含む)の点数							
評価	司書資格を有する職員で構成する図書選定委員会を毎週開催し、市民からのリクエストも含めた図書の購入について、検討・良質な図書の収集に努めている。令和5年度は目標値の達成に至ってはいるが、中央図書館の所蔵スペースではこれ以上所蔵資料点数を増やすことが困難であるため、4図書室や地域開放学校図書室への配置変えを含めて資料の充実を図る。また、令和4年10月から電子図書館サービスを開始したため、別途電子書籍による資料の拡充も図る。							
1-2	個人貸出冊点数(視聴覚資料含む)	1,236,562点	1,376,860点	1,481,648点	1,450,000点	1,498,017点	103.3%	利用者の多様な要求に応えるよう努め、貸出の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館(自動車図書館含む)及び4図書室での個人への貸出冊点数(団体貸出を除く)							
評価	令和5年度は年度当初の予定通りに開館することができ、目標値である1,450,000点を達成した。個人貸出冊点数は年々増加傾向にあり、引き続き読書推進や情報発信に努め、サービスの維持向上を図っていく。							
1-3	視聴覚資料貸出点数	52,113点	51,962点	52,270点	85,000点	50,195点	59.1%	視聴覚資料は1点当たりの購入が高額となるため、資料の厳選に努めながら計画的に整備し、貸出の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	CD・DVD・VHSビデオ等の視聴覚資料の貸出点数							
評価	視聴覚資料の貸出は、近年インターネットによる配信サービス等の影響で伸び悩んでいる。「貸出期間を図書資料と同様に2週間にしてほしい」「予約・リクエストの対象に含めてほしい」等の意見も多数寄せられているため、今後は貸出方法についてニーズに合わせて検討していく。視聴覚資料においては、1点当たりの購入金額が高価になることから、利用状況等を踏まえながら資料の厳選に努め資料の充実と有効活用を図りたい。							
1-4	市民一人当たりの貸出点(冊)数	5.1点	5.6点	5.9点	6.0点	5.9点	97.8%	中央図書館と4図書室の連携を図るとともに、自動車図書館を活用し、市民一人当たりの貸出点数の増を図り、市内全域における図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	市民一人当たりに対する中央図書館(自動車図書館含む)及び4図書室で貸出した資料の点数(視聴覚資料の貸出、団体貸出及び相互貸借借受貸出等利用者に貸出した全ての点数を9/1現在の常住人口で除して算出)							
評価	令和5年度も目標値には届かなかったものの、97.8%の水準まで到達している。引き続きサービスポイントの増設や所蔵資料の維持向上を実施していき、利用の増加に努めたい。また、令和4年10月から電子図書館サービスを開始したため、電子書籍による貸出点数の動向も注視していく。※今回の指標の値には電子書籍の貸出点数は含まない							

2 市全体へのサービスに関する指標 (10項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R5年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
2-1	新規登録者数	5,190人	5,896人	6,820人	6,500人	6,826人	105.0%	転入者や図書館未利用者等に対するピーアールに努め、登録者数の増を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
指標の説明	新たに図書館利用カードを作成した人数							
評価	これまで図書館の利用カードを新規登録する人数は増加傾向にあったが、令和5年度は前年度と同程度の人数となった。目標値である6,500人は達成しているが、つくば市の人口が増加していることを踏まえ、更なる新規利用者の登録に向けてPRに努めている。近年サービスポイントの増設、広域利用の開始、電子図書館サービスの開始等の新規サービスを開始し図書館サービスの向上に努めているが、図書館未利用者等に対するPR方法を検討し登録者数の増加に繋げていく。							

令和5年度指標に対する実績評価(最終評価)

No.	目標指標	参考値			目標値	R5年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
2-2	図書館利用カード利用者数	25,964人	28,342人	30,326人	33,500人	31,111人	92.9%	利用しやすい図書館運営に努め、より多くの市民に図書館資料の提供を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
指標の説明	1年間に図書館利用カードを利用して資料を借りた人数(一人の人が複数回利用した場合は一人と計算、団体貸出除く)							
評価	図書館利用カードの利用者数は年々増加傾向にあるが、目標値の達成には至らなかった。利用しやすい図書館運営に努めるとともに、図書館の新規・継続利用につなげるイベント等を企画し、多くの市民の図書館活用の促進を図っていききたい。新型コロナウイルスの影響で近年開催を見送っていたイベント等も順次再開していく。また、電子図書館サービスが開始したことにより、来館が困難な利用者等にも図書館活用の促進を図っていききたい。							
2-3	来館者数	393,375人	435,851人	478,875人	580,000人	455,178人	78.5%	利用しやすい図書館運営に努め、来館者数の増を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
指標の説明	中央図書館に来館した延人数							
評価	8月1日及び10月8日～11月30日の間(うち図書館開館日46日)、カウンター機器の故障により計測不可であった。来館者数の一日平均を算出し、開館日数を乗じて年間来館者数を予測すると539,490人程度と見込まれ、年々増加傾向にはあるものの目標値の達成には至っていない。引き続き、来館を促すようなイベントや企画を検討したり、利用者アンケートの結果等から改善できる箇所を改善していくことで来館者の増加を図る。							
2-4	年間開館日数	266日	260日	285日	293日	294日	100.34%	利用しやすい図書館運営に努め、年間の開館日数を増やすことで、市民の図書館利用の促進を目指す。
指標の説明	中央図書館の年間開館日数							
評価	令和5年度は年度当初の予定通りに開館することができ、目標値の達成に至った。引き続き、館内整理日や祝日開館の振替休館等の見直しにより年間開館日数の確保に努め、図書館利用の促進を図る。							
2-5	年間開館時間	2,423時間	2,450時間	2,687時間	2,760時間	2,769時間	100.3%	利用しやすい図書館運営に努め、年間の開館日数を増やすことで、市民の図書館利用促進と利便性の向上を目指す。
指標の説明	中央図書館の年間開館時間							
評価	令和5年度は開館日数の増加に伴い年間開館時間も増加し、目標値の達成に至った。引き続き、館内整理日や祝日開館の振替休館等の見直しにより年間開館日数の確保に努め、年間開館時間も確保していく。							
2-6	返却窓口への返却冊数	119,926冊	142,699冊	159,764冊	130,000冊	187,070冊	143.9%	ブックポスト等を設置することで利用者の利便性の向上に努め、市民の利用の促進を目指す。
指標の説明	4図書室、並木・広岡・大穂・豊里、島名交流センター及び市役所のブックポストに返却されて回収した図書資料の冊数							
評価	令和2年～令和4年までの返却窓口への返却冊数実績値については、年々増加傾向にある。特に、予約本の受取館としてサービスの提供を開始した市庁舎コミュニティ棟(令和4年10月～)やかとりだい交流館(令和5年6月～)に設置したブックポストの返却実績が増加し返却冊数の増加に繋がっている。返却資料の制限や回収・配送頻度等の課題があるものの、引き続きサービスポイントの位置や配送頻度について検討していき利用者の利便性向上を図る。							
2-7	予約件数	131,036件	167,352件	180,325件	150,000件	208,444点	139.0%	図書館窓口のほか図書館ホームページからのインターネット予約の充実を図るとともに、4図書室等を活用した迅速な予約本の貸出サービスに努め、市民の利用の促進を目指す。
指標の説明	中央図書館、4図書室、自動車図書館及びホームページからの予約受付件数							
評価	予約件数は年々増加傾向にあり、目標値に対して139.0%の達成率となった。予約本の受取館として市庁舎コミュニティ棟(令和4年10月～)やかとりだい交流館(令和5年6月～)を増設したことや、電子図書館サービスの提供に伴いWebサービスの年齢制限を撤廃したことで、これまでインターネットから予約申込ができなかった児童の予約件数の増加等が要因として考えられる。令和5年10月から研究学園小学校図書室での図書館サービスの提供も開始したことで、更なる利用者の利便性の向上に努めている。							

令和5年度指標に対する実績評価(最終評価)

No.	目標指標	参考値			目標値	R5年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
2-8	図書館ホームページへのアクセス件数(簡易検索の検索件数)	371,691件	445,989件	580,449件	390,000件	825,729件	211.7%	図書館ホームページの内容充実と分かりやすい情報発信に努め、市民の理解と関心を高めることで、市民の利用の促進を目指す。
指標の説明	図書館ホームページへのアクセス件数(OPACのトップページで検索をした件数であり、詳細検索等は含まない)							
評価	ホームページでの検索数も年々増加傾向にあり、目標値に対して211.7%の達成率となった。令和4年度に新たに電子図書館サービスが開始となったことや、Webサービス利用において年齢制限を撤廃したこと等、インターネットからできるサービスが拡大されたことでホームページへのアクセスが増加したと考えられる。引き続き、読書推進活動に努めアクセス件数の増につなげたい。							
2-9	図書館情報紙の発行回数	7回	8回	7回	8回	18回	225.0%	図書館情報紙「ヨモッカ」「こどもヨモッカ」など、市民に親しまれる情報紙を定期的に発行し、市民の理解と関心を高めることで、市民の利用の促進を目指す。
指標の説明	市民向けの図書館情報紙の発行回数							
評価	令和5年度の実績として、図書館情報紙「ヨモッカ」及び「こどもヨモッカ」を年各2回ずつ発行したほか、所蔵資料の紹介紙「としよかんの本」を年4回、テーマ別の図書資料や探し方を紹介する情報紙「パスファインダー」を10回発行し(改訂含む)、計18回の発行となった。引き続き、市民に親しまれる情報紙を定期的に発行し、図書館の利用促進を図っていきたい。							
2-10	ボランティア等によるおはなし会等開催回数	23回	104回	152回	100回	192回	192.0%	定期的におはなし会等を開催することで、本に関する関心を高め、読書推進を目指す。
指標の説明	図書館ボランティア・図書館職員が実施したおはなし会・ブックトーク・パネルシアター等の開催回数							
評価	令和5年度は、概ね年度当初の予定通りにおはなし会を実施し、目標値の達成に至った。今後も定期的なおはなし会を実施していき、図書館の利用促進を図る。また、令和5年度はライブラリーピクニックでのおはなし会や科学技術戦略課と協力しオリヒメを用いた遠隔地からのおはなし会(小学校等の夏季休業期間中)を実施することができた。							

3 高齢者、障害のある方及び外国の方へのサービスに関する指標(5項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R5年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
3-1	大活字本の所蔵冊数	2,735冊	2,784冊	2,797冊	3,000冊	2,845冊	94.8%	大活字本の計画的な蔵書に努め、高齢の方、障害を持った方の図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	大活字本の所蔵冊数							
評価	計画的に購入を行い所蔵数は増えてきているが、目標値の達成には至らなかった。読書バリアフリー法が制定され、今後更なる高齢化や多様化が見込まれるため、引き続き計画的な蔵書構築に努める。							
3-2	大活字本の貸出冊数	1,960冊	2,275冊	3,028冊	2,300冊	2,917冊	126.8%	資料の充実とともに、大活字本コーナーの分かりやすい表示やピーアールに努め、高齢の方や障害を持った方の図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	大活字本の貸出冊数							
評価	年々大活字本の貸出冊数は増加傾向にあり、令和5年度も目標値の2,300冊を達成した。蔵書冊数が増えることで、多様な利用者のニーズに合った本を所蔵することができ、貸出冊数の増加にも繋がっていくため、引き続き資料の質の向上に努めていく。また、電子図書館サービスにおいては活字のサイズを御自身で読みやすいサイズに変更することが可能であるため、電子図書館サービスの機能の周知等も図っていきたい。							
3-3	外国語資料の所蔵冊数	11,046冊	11,028冊	11,208冊	12,000冊	11,662冊	97.2%	外国語資料の蔵書数を増やし、多言語サービスの向上を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	英語、中国語、韓国語をはじめ、中央図書館で所蔵する児童書及び一般書の外国語資料数							
評価	計画的に購入することにより所蔵数は増加しているが、目標値の達成には至らなかった。つくば市は、外国人居住者の割合が全国平均よりも高く、今後も外国人居住者数は増加する見込みである。引き続き、外国語資料の購入予算増や積極的な寄贈の受入れにより、所蔵点数を増やしていく。							

令和5年度指標に対する実績評価(最終評価)

No.	目標指標	参考値			目標値	R5年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
3-4	外国語資料の貸出冊数	10,672冊	10,858冊	11,206冊	12,000冊	11,611冊	96.8%	外国語資料コーナーの配架や外国語による掲示等の充実に努め、外国語資料の貸出増を図り、図書サービスの充実に目指す。
指標の説明	外国語資料の年間貸出冊数(児童書と一般書の合計)							
評価	所蔵外国語資料の充実に進めており、外国語資料の貸出点数については年々増加傾向にある。令和5年度は、目標値に対して96.8%の達成率となっている。今後も外国語資料の充実に努めるとともに、外国語資料を紹介するイベント等を企画し利用向上を図りたい。							
3-5	点字資料の所蔵点数	237点	238点	246点	250点	251点	100.4%	点訳資料の作成及び収集に努め、所蔵点数増を図り、障害を持った方への図書館サービスの充実に目指す。
指標の説明	中央図書館のボランティアが作成した点字資料と購入した点字資料の所蔵点数							
評価	令和5年度は点訳ボランティアによる点字資料の作成を計画的に行い、目標値の達成をすることができた。引き続き、点訳ボランティアによる点字資料の作成を継続的に支援するとともに、計画的に点字資料を購入することでサービスの充実に図りたい。							

4 地域支援サービスに関する指標 (3項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R5年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
4-1	自動車図書館利用人数	12,712人	9,677人	12,316人	14,000人	13,841人	98.9%	自動車図書館のステーションの見直しや蔵書の充実に努め、適切な周期の運行に努め、図書館サービスの充実に目指す。
指標の説明	自動車図書館(3台)の年間貸出人数							
評価	令和4年度から3号車の運行を開始し、令和5年度も新たなステーションの増設等、市内全域への図書館サービスの提供を図ってきた。目標値の達成には至らなかったものの、98.9%の水準まで到達している。市域が広いつくば市において自動車図書館は重要な役割を担っており、引き続きステーションの見直しや自動車図書館の情報発信やイベントへの出展を企画していき、更なるサービスの拡充を図る。							
4-2	自動車図書館貸出冊数	44,415冊	37,244冊	43,337冊	55,000冊	47,583冊	86.5%	自動車図書館資料の充実に努め、利用者のニーズに応じた本を積載して各ステーションを巡回することで、貸出冊数の増を図り、図書館サービスの充実に目指す。
指標の説明	自動車図書館(3台)の年間貸出冊数							
評価	自動車図書館の利用者の増加に伴い、年間貸出冊数も増加傾向にある。目標値の達成には至らなかったものの、86.5%の水準まで到達している。引き続き、利用者層をニーズを反映させた図書の購入、積載図書の選書を行うなど資料の充実に努め、自動車図書館での貸出増加を図る。							
4-3	相互貸借貸出冊数	575冊	1,862冊	1,743冊	1,500冊	1,420冊	94.7%	利用者が求める資料で中央図書館が所蔵していない資料について、他の図書館と連携して利用者に提供することで、図書館サービスの充実に目指す。
指標の説明	中央図書館が所蔵していない資料で、利用者の希望を受けて他市等の図書館から借受けをして貸出しを行った資料冊数							
評価	令和3・4年度と比較して相互貸借の貸出冊数は減少し、目標値を若干下回った。今後も、利用者が希望する資料にアクセスできるよう、制度の周知を図るとともに、潜在的ニーズも掘り起こせるよう情報提供をしていく。							

令和5年度指標に対する実績評価(最終評価)

5 課題解決支援、ボランティアとの連携、利用者の情報活用能力に関する指標 (3項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R5年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
5-1	レファレンス受付件数	1,389件	1,440件	1,458件	1,800件	1,446件	80.3%	レファレンス能力の向上とレファレンスサービスのピーアールに努め、利用者の情報や知識の獲得、調査研究や調べ学習を支援し、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館カウンター、電話、メール等でのレファレンス受付件数							
評価	近年は1,450件前後で推移しており、目標値には達していない。サービスの周知を図るとともに、研修への参加や職場内研修の時間を確保し、職員のレファレンス能力の向上を図ることで図書館サービスの充実に努めたい。							
5-2	ボランティア登録者数	150人	166人	156人	160人	151人	94.4%	より多くの方にボランティア活動に参加していただけるよう、多様なボランティア活動の機会や場所を提供を図る。また、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館の各ボランティアに登録した人数(一人で複数のボランティアに登録している場合は一人で算出)							
評価	前年度からわずかに減少し、目標値をわずかに下回ったが各ボランティア活動は計画的に実施できている。平日活動のグループが多いため、就業している方や学生等は継続的な参加ができず登録できない状況にある。新たなボランティア活動の検討や活動の見直しを図ることで、ボランティアの活動の幅を広げていきできるだけ多くの方が活動できるような機会や場所を提供していく。							
5-3	ボランティア活動者数	1,006人	1,557人	1,906人	2,200人	1,918人	87.2%	多様なボランティア活動の機会や場所を提供することで、市民のボランティア活動を支援するとともに、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館の各ボランティア活動に参加した年間延人数							
評価	令和5年度は、臨時休館がなかったことやおはなし会を実施できたことで活動者数の増加につながったが、目標値の達成には至らなかった。令和5年度は、音訳ボランティアに音訳の依頼をしていた資料の廃刊によりボランティア活動の実施が難しい状況となっていた。今後、図書館でのイベント等の実施やボランティア活動の方法を検討していき、更なるボランティアの協力を仰ぐ体制を構築していくことで図書館サービスの充実を図っていく。							

6 学校図書館等支援に関する指標 (6項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R5年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
6-1	団体貸出利用回数	103回	120回	126回	200回	100回	50.0%	団体貸出についてのピーアールに努め、学校や公共機関等の団体貸出利用団体の増を図り、学校等における読書活動の推進を目指す。
指標の説明	団体貸出を利用した団体の延利用回数							
評価	近年、増加傾向にあったが、令和5年度は減少し、目標には達しなかった。読み聞かせ用の本等を個人のカードで借りていく利用者も一定数いることから、団体貸出サービスの周知を進めるとともに、利用しやすい環境を整えていく。							
6-2	団体貸出図書冊数	6,912冊	7,212冊	8,187冊	15,000冊	8,703冊	58.0%	団体貸出についてのピーアールに努め、学校や公共機関等への団体貸出しの利用増を図り、学校等における読書活動の推進を目指す。
指標の説明	保育所・幼稚園・小学校・児童クラブ・福祉施設等の団体に対しての図書貸出冊数(1回につき、1団体300冊まで3か月間貸出可)							
評価	増加傾向ではあるが、目標には達しなかった。利用回数の減少に対し、1回あたりの貸出冊数が増加していると考えられる。魅力ある図書を揃えるとともに、選書、貸出、返却のしやすい環境作りを進めていく。							

令和5年度指標に対する実績評価(最終評価)

No.	目標指標	参考値			目標値	R5年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
6-3	社会科学見学等の図書館見学受入回数	0回	4回	6回	10回	5回	50.0%	読書活動の普及を図るため、受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。
指標の説明	保育所・幼稚園・小学校・義務教育学校・特別支援学校等による図書館見学の受入回数							
評価	実施が可能な場合には積極的に受入れを行っているが、依頼が少なく、目標には達しなかった。引き続き、積極的に受入れを行っていくことで読書推進を図りたい。							
6-4	職場体験学習受入人数	0人	0人	16人	40人	25人	62.5%	読書活動の普及を図るため、図書館の受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。
指標の説明	8年生(中学2年生)を対象とした職場体験の場として、中央図書館で図書館業務の体験学習を受け入れた生徒の人数							
評価	令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の流行により職場体験の受入れを中止していたが、令和4年度からは学校と協議を行い、実施が可能な場合はスケジュールを調整し受入れを行った。令和5年度も目標値の達成には至らなかったが、前年度より受入人数は大幅に増加した。今後も積極的に受け入れをすることで読書推進を図りたい。							
6-5	ジュニア図書館員受入人数	0人	0人	0人	75人	56人	74.7%	読書活動の普及を図るため、図書館の受入体制の充実に努め、読書活動の向上を目指す。
指標の説明	4年生から6年生を対象にした図書館員の業務体験に参加した児童数							
評価	令和2～4年度は新型コロナウイルス感染症の流行により実施しなかったが、令和5年度からは内容を一新し、定員24人×3日間の形式で実施した。参加人数の増加を図るには、定員及び回数を増加し、さらに広報を強化する必要がある。また、当日対応する人員の確保が課題である。							
6-6	学校図書館司書教諭補助員(学校司書)等の研修参加人数	0人	49人	51人	170人	51人	30.0%	学校図書館との連携を強化し、司書教諭や司書教諭補助員(学校司書)の研修等を支援することで、読書活動の推進を目指す。
指標の説明	学校図書館司書教諭補助員(学校司書)及び司書教諭等を対象に実施される研修の延参加人数							
評価	令和5年度は対面で、初任者のみの内容と受講者全体を分けた内容で実施した。現在は学校司書(司書教諭補助員)を対象に1回のみ実施しているが、今後は回数や対象の設定を拡大させることで、さらなる連携を進めたい。							

7 市民満足度に関する指標 (1項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R5年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
7-1	利用者満足度調査の満足度	85%	78%	90%	80%以上	83%	103.8%	図書館利用者の満足度を把握し、利用者の声をサービスに反映させることで図書館運営の向上を目指す。
指標の説明	中央図書館の利用者に対して図書館サービスについて調査を実施し、「満足」「やや満足」と回答した人の割合							
評価	「満足」と「やや満足」を合計した割合は、前年度から7ポイント減少し83%となったが、目標値は達成している。令和5年度から、インターネットを用いて回答可能になったことで、これまでと比較し利用頻度の少ない利用者からも回答を得ることができたため満足度の減少という結果になったと考えられる。図書館の改修に向けた利用者の意見や要望、その他自由記入欄への意見や要望をもとに改善できることから改善していき、今後も利用者目線での図書館サービス向上を目指していきたい。							